

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルームびすけっと		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者アンケートから、通所を楽しみにしている、事業所の支援に対する満足度に評価をいただきました。そのことこそが事業所の強みであると考えます。	児童に対して「ダメ」の言葉を事業所NGワードとして取り組んでいます。児童一人一人の思いや意欲を大切にしながら一人一人に沿った先を見据えた現在の支援、活動プログラムを計画し、実施しています。	今後も当事業所を利用する児童および保護者の皆さまに信頼と安心感をもって利用していただけるよう、一人一人を大切にした支援に努めていきます。
2	当事業所の児童発達支援は、土曜日のみ行っており、児童発達支援対象児童と放課後等デイサービス対象児童がともに過ごし、社会体験活動を多く取り入れています。過ごしの中に療育要素を散りばめていること、食事や排せつなど生活全体を通して支援できることが強みであると考えます。	自由に遊ぶ時間と頑張る時間のメリハリをつけた過ごしを意識して流れを設定しています。集団活動の場面では、年上の児童が年下の児童をサポートするシーンを意図的に設け、また年下の児童が年上の児童の真似をするなどを通して、相互作用や成長を促しています。	児童発達支援の5領域を更に意識した活動へ工夫してまいります。児童も職員も一緒になって楽しむこと、できたことを一緒に喜び、児童自身が実感できる関わりを大切にしていきます。
3	送迎を継続していることは事業所の強みの1つだと考えています。	安全に気をつけて送迎を行っています。また、送迎時に各職員が保護者様と顔を合わせてお子さんの様子や成長について情報共有をすることで、ご家庭とのコミュニケーションの機会とし、よりよい支援につなげています。	状況に応じてご家庭から協力していただくこともありますが、引き続き児童の安全面に配慮した送迎に努めていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラムや家族が参加できる研修会、保護者同士・きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援ができていないことが弱みです。	その都度、個別に保護者の皆さまとはお話をしていますが、今年度は保護者会、研修会等を実施しませんでした。	今後の検討課題を考えています。事業所でできること、保護者様のニーズをしっかりと踏まえて検討していきます。
2	各種マニュアルの周知、活動内容の周知に課題があると考えます。	各情報の周知に関しては契約時やモニタリング面談時、お便りや連絡帳、HPなどを通して発信していますが、まだ不十分であったことが要因と考えます。	今後も引き続き、契約時やモニタリング面談時、お便りや連絡帳、HPを通じて丁寧な説明に努めます。各種マニュアルに関してはいつでも閲覧できるような環境を整えていることも周知していきます。また、開かれた事業所であるために、これまで同様、いつでも参観していただけるようにしていきます。
3	事業所とご家庭の連絡手段に課題があると考えられます。	ご家庭との連絡は、基本電話とお便りでおこなっています。また、より気軽に早く連絡を取り合えるSNSなどを取り入れてほしいというご要望をいただいています。	SNS等を用いた連絡手段に関しては今後の検討課題として受け止めております。